

校則の運用 — 改訂版「生徒指導提要」—

- 校則に基づく指導を行うに当たっては、校則を守らせることにはばかりこだわることなく、何のために設けた決まりであるのか、教職員がその背景や理由についても理解しつつ、児童生徒が自分事としてその意味を理解して自主的に校則を守るように指導していくことが重要である。



- そのため、校則の内容については、普段から学校内外の者が参照できるように学校のホームページ等に公開しておくことや、それぞれの決まりの意義を理解し、児童生徒が主体的に校則を遵守するようになるためにも、制定した背景についても示しておくことが適切である。
- その上で、校則に違反した場合には、行為を正すための指導に止まるのではなく、違反に至る背景など児童生徒の個別の事情や状況を把握しながら、内省を促すような指導となるよう留意しなければならない。

失敗

元プロバスケットボール選手 マイケル・ジョーダン

私は、自分のバスケットボール人生の中で、9000回以上のシュートに失敗した。
300近いゲームに負け、26回は試合の勝敗を決めるシュートを外した。
私は、人生の中で何度も何度も失敗している。
そして、それこそが私が成功する理由なのだ。

出典：「賢人たちに学ぶ 道を開く言葉」本田季伸著（かんき出版）

※ 失敗から学び、悔しさをバネに精進を積む。金字塔は、失敗を恐れずに挑み続けた証です。